

かみうちせいこう  
神内生光氏の描く  
「いとしの桑名」

日本画家神内生光氏は、昭和53年から桑名に在住以来、市内の風情を多く描かれてきました。

その風景画は昭和の面影を残すものが多く、中央図書館企画事業「昭和の記憶」の資料として水彩画及び構想用資料の写真を寄贈して頂きました。

早速その水彩画を展示いたしました。

神内氏により描き出された素晴らしい桑名の風情をお楽しみ下さい。

場 所	桑名市立中央図書館 3階展示コーナー
期 間	2月1日(金)から3月25日(火)